

《専門教育科目 専門応用科目》

|                           |   |       |        |          |       |
|---------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名                       | 学校経営と学校図書館  |       |        |          |       |
| 担当者氏名                     | 植原 和彦   |       |        |          |       |
| 授業方法                      | 講義  | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 3年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成<br>○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上<br>○ 専門応用-4 発達の深い理解<br>○ 専門応用-5 指導・保育の専門性 |       |        |          |       |

《授業の概要》

学校図書館は学校教育の目標達成のために重要な役割を果たす機能を有していることを理解し、学校図書館経営の中心となる司書教諭の任務と役割、評価について概説する。学校図書館教育の年間計画・経営計画作成の演習を行い、基本事項の理解を深める。司書教諭・学校司書との連携や公共図書館などの文化施設との相互協力の重要性を理解する。事例を挙げ、今後の課題や方向性を検証しこれからの学校図書館の在り方を論じる。

《授業の到達目標》

学校教育における学校図書館の推移、教育的意義、教育行政との関わり、経営の在り方など、基本事項の理解を深める。

《成績評価の方法》

試験の成績40%、授業内課題30%、レポート30%により評価する。

《テキスト》

適宜、配布する。

《参考図書》

適宜、指示する。

《授業時間外学習》

学校教育における学校図書館の推移、教育的意義、教育行政との関わり、経営の在り方など、基本事項の理解を深めるために、演習以外の講義に関しては、その講義に関するレポートを提出する。第10回～14回に関しては、作成した計画の課題をレポートする。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園・小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

| 週  | テーマ        | 学習内容                                  |
|----|------------|---------------------------------------|
| 1  | 学校図書館の役割   | 教育改革と学校図書館                            |
| 2  | 理念と意義      | 学校図書館の理念と教育的意義                        |
| 3  | 図書館行政①     | 教育行政と学校図書館                            |
| 4  | 経営         | 学校図書館の経営                              |
| 5  | 施設         | 学校図書館の施設・備品                           |
| 6  | 司書教諭       | 司書教諭の役割と校内組織体制、研修                     |
| 7  | メディア管理①    | 学校図書館メディアの選択と管理、提供の基本的視点①             |
| 8  | メディア管理②    | 校図書館メディアの選択と管理（印刷メディア・視聴覚メディア・電子メディア） |
| 9  | 計画の立て方     | 学校教育目標と読書活動推進計画と学校図書館経営計画             |
| 10 | 演習①        | 演習Ⅰ（小学校低・中学年「学校図書館経営計画」の作成と指導）        |
| 11 | 演習②        | 演習Ⅱ（小学校高学年・中学校「学校図書館経営計画」の作成と指導）      |
| 12 | 演習③        | 演習Ⅲ（特別支援が必要な児童・生徒「学校図書館経営計画」の作成と指導）   |
| 13 | 事例研究       | 学校図書館活動の具体的事例の研究                      |
| 14 | 生涯学習施設との連携 | 学校図書館と図書館・博物館などのその他の生涯学習施設との相互協力      |
| 15 | まとめ        | 課題解決のための研究と今後の展望                      |